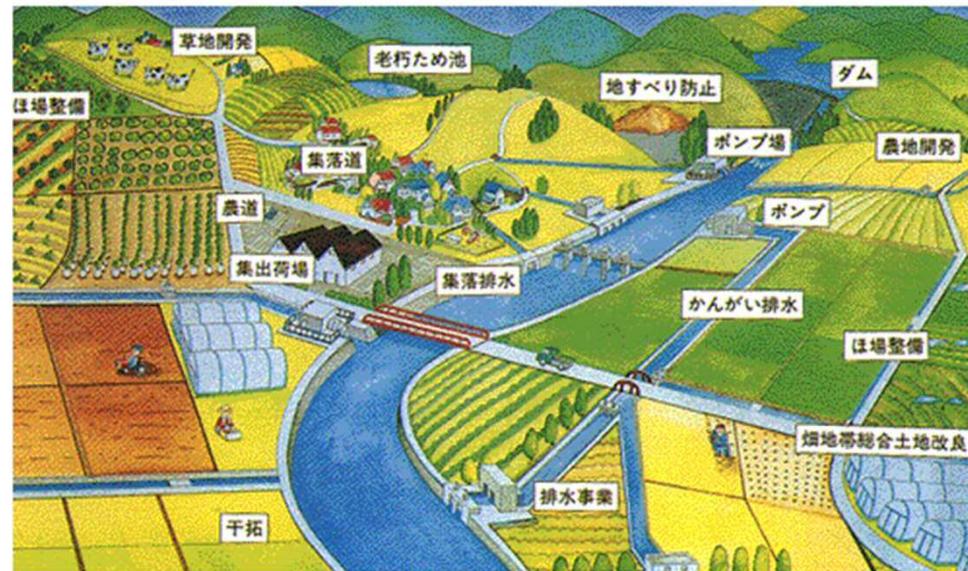


国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）【行政区分】

九州農政局農村振興行政系の紹介



農林水産省
九州農政局 農村振興部

農村振興行政系とは

○主に九州農政局農村振興部の用地課、水利整備課(管理調整)、土地改良管理課、または農村振興部の他の課に採用され、業務を行う職員です。

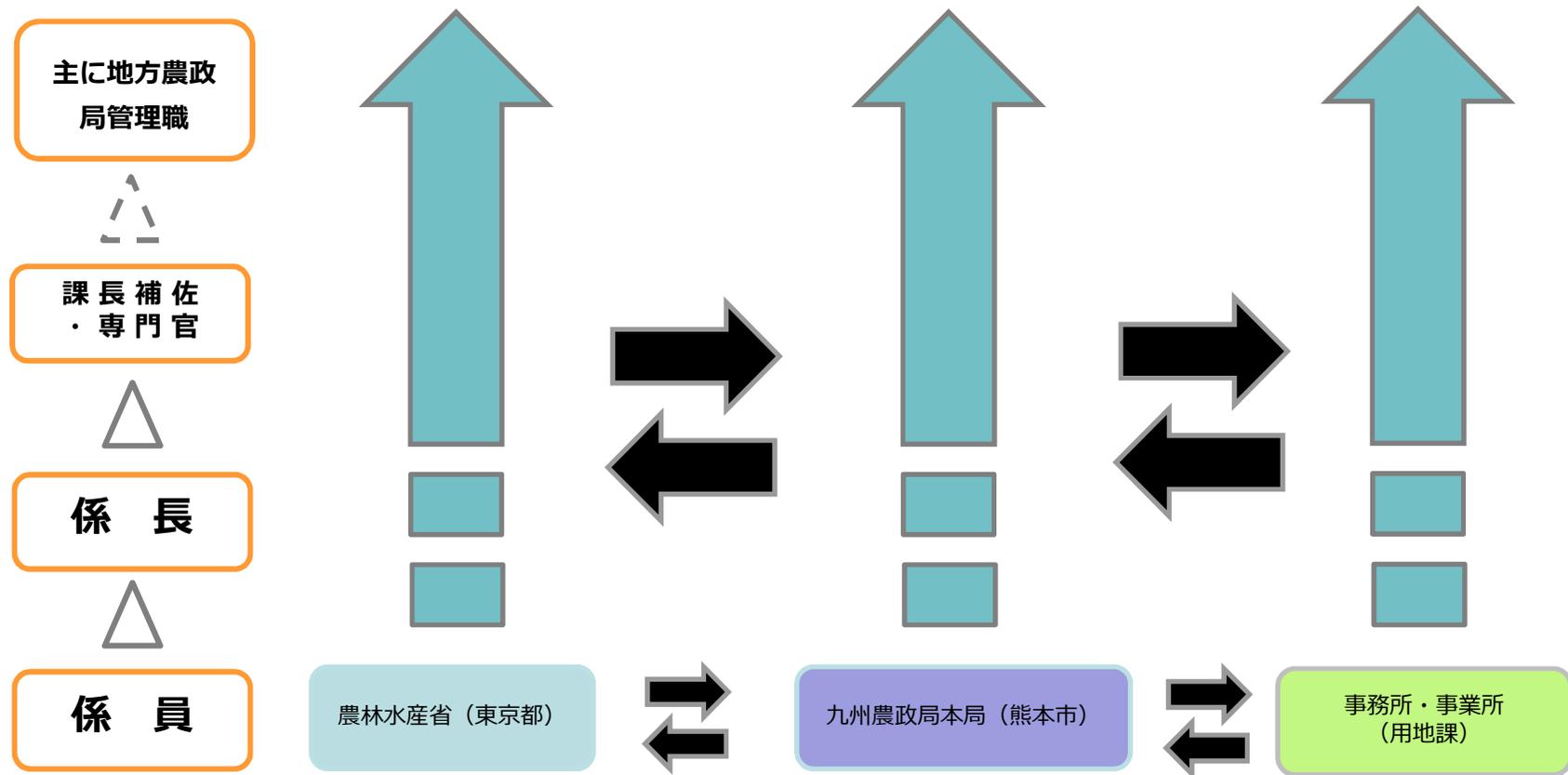
○上記のいずれかの課で、行政研修、専門研修、OJT※などにより、1年間(土地改良管理課は2年間)基礎的な事項を習得した後、より農家・農業に近い現場を経験するために、管内事業(務)所へ異動して頂きます。

※OJTとは「各職場での実務経験を通して、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けることで、教育施策の一つ」

○管内事業(務)所を2～3年周期で何箇所か異動した後、本人の適正、経験、希望等を勘案の上、本省、地方農政局(九州農政局含む。)などへ異動し、キャリアを積んで頂きます。

九州農政局のキャリアパス【農村振興行政系】

農林水産省、九州農政局本局、事業所の用地・管理業務を経験しながら
用地・管理業務のスペシャリストとしてキャリアアップしていきます。



※農林水産省で予算関係、本局・事業所等で会計業務に従事することもあります。

農村振興行政系に係る組織について

農林水産省

農林水産本省

- 水産庁
- 林野庁
- 農林水産技術会議
- 防炎課
- 地域整備課
- 農地資源課
- 水資源課
- 土地改良企画課
- 設計課
- 整備部
- 農村政策部
- 総務課
- 農村振興局
- 経営局
- 畜産局
- 農産局
- 湯室・国際局
- 消費・安全局
- 大臣官房

地方農政局

- 統計部
- 防炎課
- 地域整備課
- 農地整備課
- 水利整備課
- 用地課
- 事業計画課
- 農村環境課
- 都市農村交流課
- 土地改良管理課
- 農村計画課
- 設計課
- 農村振興部
- 経営・事業支援部
- 生産部
- 消費・安全部
- 総務部
- 企画調整室
- 地方参事官
- 九州農政局
- 中国四国農政局
- 近畿農政局
- 東海農政局
- 北陸農政局
- 関東農政局
- 東北農政局

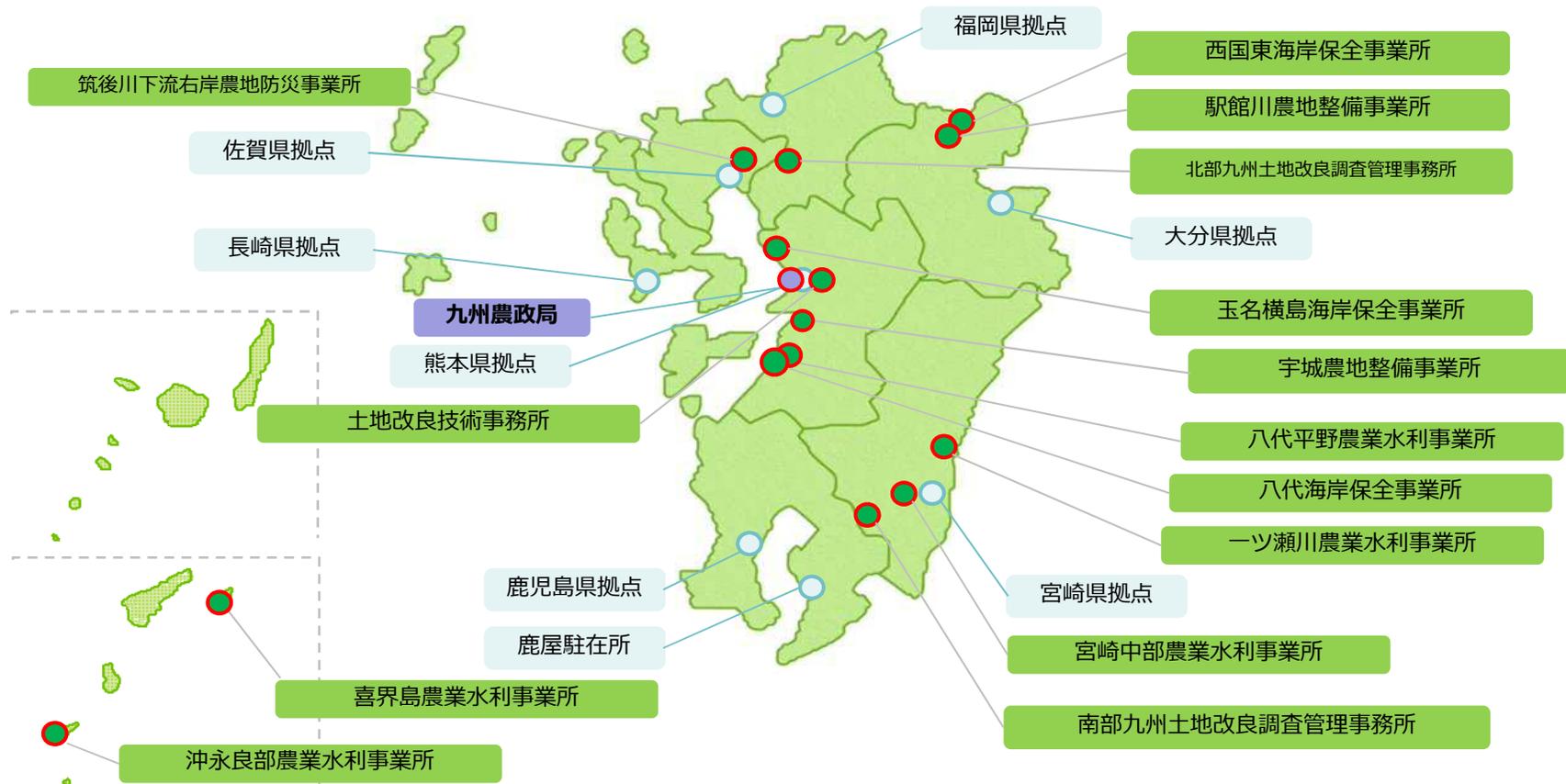
管内事業所

- 用地・管理・経理業務
- 西国東海岸保全事業所
- 八代海岸保全事業所
- 玉名横島海岸保全事業所
- 農地防災事業所
- 筑後川下流右岸
- 駅前川農地整備事業所
- 宇城農地整備事業所
- 喜界島農業水利事業所
- 沖永良部農業水利事業所
- 一ツ瀬川農業水利事業所
- 宮崎中部農業水利事業所
- 八代平野農業水利事業所
- 土地改良技術事務所
- 土地改良調査管理事務所
- 南部九州
- 農業水利事業建設所
- 下流福岡
- 土地改良調査管理事務所
- 北部九州



九州農政局の組織 5.6.1現在

九州農政局は本局に約530人と九州管内の各県拠点に約340人、事業所に約410人で構成され総定員数は約1280人です。（ほかに再任用職員：290人 非常勤職員：180人）



農林水産省で行う土地改良事業とは？

○ 公共事業と言えば、「国土交通省や都道府県が行うもの。」というイメージ

ダム、道路、河川などの造成・改修

○ 実は、農林水産省も公共事業を行っています。（一般に「**土地改良事業**」と言います。）

農業用に資するダム、取水堰（頭首工）、揚水機場・排水機場などの重要な基幹的施設の造成・改修
（ただし、規模の小さいものは都道府県、市町村、土地改良区等が行うことがあります。）



農業のための用水施設や排水施設、道路、その他農業をするにあたり有益な施設、農村での生活を快適にする施設のことを**土地改良施設**と言います。

土地改良事業の業務とは？

課せられた命題は・・・

- ・農業水利施設(ダム、用排水路)の整備
- ・自然災害(地震、集中豪雨)に対応した整備
- ・農地の大区画化

国民の食糧需給の動向に応え、農業と農村の健全な発展に資するため、農地や農業水利施設など農業生産を支えるインフラの整備・管理及び農地・農村を守るための防災事業を行っています

農業収益向上のための農地整備



農業用水の安定供給のため農業水利施設



農地・農村を守るための防災事業



土地改良事業に関わる職員は、調査・計画、工事設計、土地等の買収、工事発注・監督などを行います。
また、事業を進めるために地域農業施策を所管する県や市町村などの地方土地改良団体の担当者及び完成した施設の維持管理を行う土地改良区、地元関係者と協議・調整しながら日々業務に取り組んでいます。

○用地課(8~9ページ参照)

土地改良施設を造成するための土地の買収、支障となる建物・物件等の移転、土地改良事業に必要となる土地の借地などを行います。

○水利整備課(管理調整)(8~9ページ参照)

土地改良事業で造成した土地改良施設の管理、土地等の使用許可、土地改良事業で必要となる土地の占用手続きなどを行います。

○土地改良管理課(10~11ページ参照)

土地改良法に基づく土地改良事業の手続きや、土地改良区の指導・監督、農地の集団化に係る指導などを行います。



用地課、水利整備課（用地、管理）の仕事とは？

- 土地改良事業を行うためには、施設を作るための土地を買ったり、工事用地を借りたりする必要。

➡ **用地の仕事**

- 完成した土地改良施設を維持・管理する必要。

➡ **管理の仕事**



主な用地の仕事

(1) 土地を買う

土地改良施設を作るための土地を買う。

そのために、土地の所有者を調べたり、土地の測量を行ったり、土地の価格を算定した上で、用地交渉をします。



(2) 建物や物件を移転する

土地改良施設の建設予定地に建物やその他の物件などがある場合は移転（補償）を行う。

そのために、建物等の所有者を調べたり、移転に必要な費用を算定したりします。



(3) 工事用地を借りる

工事のために一時的に必要となる土地を借りる。

そのために、土地の所有者・耕作者を調べたり、作物の補償金や借地料を算定したりします。

主な管理の仕事

(1) 施設を管理する

台帳や図面などを整理した上で、施設を土地改良区等に委託して管理してもらう。



(2) 他者の土地等を使用する

農林水産省の水路などの施設が河川敷地や国道・県道敷地などを横断等している場合は占用手続きを行う。



(3) 他者に土地等の使用を許可する

他者が農林水産省の水路施設やその土地等を使用する場合に、要件に合致しているかを確認し、許可を行う。

用地、管理のやりがい、メリット

○ 用地や管理の仕事を行うことによって、様々な知識を得たり、経験をしたりできます。

用地の仕事では

用地買収や借地ができなければ、ダムや取水堰のような大規模な土地改良施設も建設することはできません。



「縁の下の力持ち」的存在であるが、完成した施設を目にしたときなど達成感があり、自分たちがいなければ工事はできないという自負。

相続、測量、土地の評価、不動産登記など様々な知識を学ぶことができる。



今後、マイホームを持つことになったとき、経験を生かし自分で登記手続きを行ったり、土地改良補償業務管理者や宅地建物取引士（宅建）などの資格の勉強にも役立つ。

管理の仕事では

どんなに大きなダムや取水堰が完成しても、管理をしなければ施設はどんどん劣化します。



管理を適正に行ってこそ、土地改良施設はその能力を発揮し、将来に渡って使用することができるという責任感。

土地改良法、国有財産法、河川法、道路法などの様々な法律を学ぶことができ、九州農政局管内にある数多くのダムや取水堰、用・排水機場などを直接見て、地域農業にどのように役立っているのか実感できる。



他の部署に異動しても知識、経験を活かせる。

土地改良管理課(土地改良管理業務)の仕事とは？

○ 農村振興行政部門には、土地改良事業の実施手続、事業を行う土地改良区(農業者の団体)の設立、運営などを定めた「土地改良法」に基づき、制度の運用や関係団体の指導・監督などの業務(土地改良管理業務)を行う部署があります。

主な土地改良管理業務の仕事

(1) 国が行う土地改良事業の手続

・国が行う土地改良事業を開始、変更するために必要となる土地改良法に定められた手続(知事との協議等)を行う。

(2) 土地改良区の指導・監督

・農地の整備や農業用水の管理を通して、地域資源の保全管理を担う土地改良区の運営基盤の強化や指導・監督を各県の担当者と連携して行う。

(3) 農地の集団化を図る指導・助言

・優良農地を確保するための農地の集団化や、担い手農家への農地の集積・集約化を図るための指導・助言を行う。



土地改良管理業務のやりがい、メリット

○ 土地改良管理業務に従事することにより、制度の仕組みや関係法令の理解を深められるとともに、地方土地改良団体や土地改良区などの多様な関係者と仕事をする機会があり、幅広い知識と経験が得られます。

土地改良管理業務のやりがい

○ 国営事業のような大規模土地改良事業のプロジェクトにおいて、法律に定められた手続を行うことで携わり、事業の推進に寄与することは、大きな責任感や達成感を得られます。

○ 工事を実施する農業土木部署や農地法を所掌する部署などとの仕事上のつながりも深く、幅広い部署の担当者と仕事ができます。

○ 地方土地改良団体や土地改良区など、異なる組織の多様な関係者と連携しながら、農業・農村の振興に携わることができます。



土地改良管理業務に携わるメリット

○ 土地改良法制度に精通するとともに、民法、農地法、税法、国有財産法、河川法、道路法などの関係法令を学べます。

○ 地方土地改良団体や土地改良区など、多様な関係者と仕事をする機会があり、幅広い経験が得られます。

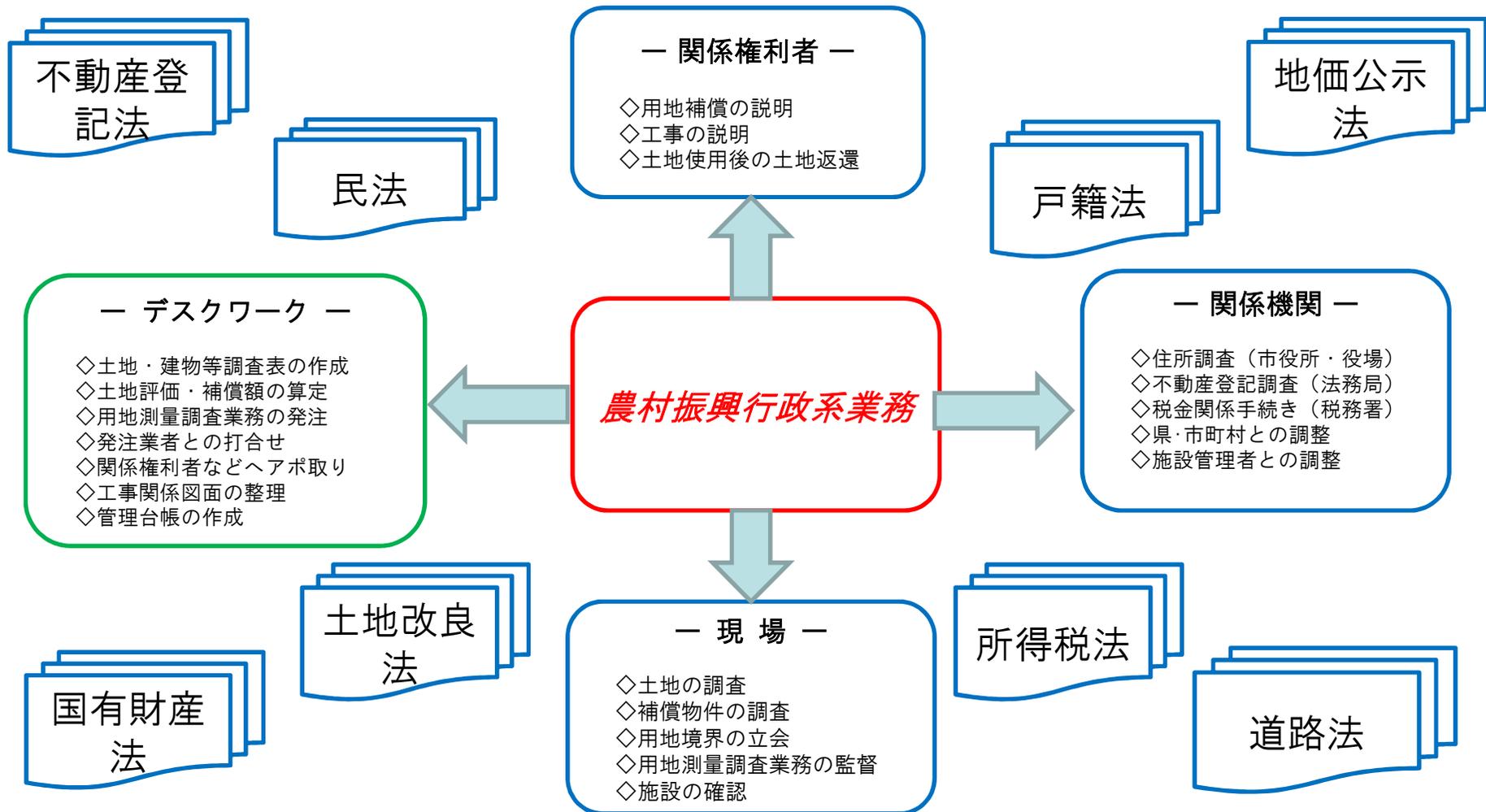


○ 得られた知識や経験は、行政部門や用地業務の部署でも役立ちます。

○ 本人の意向によっては、本省（霞ヶ関）で土地改良法制度の企画・立案や国会対応、予算要求等に携わることができます。

農村振興行政系業務はデスクワークだけにとどまらない

- 管内事業（務）所での農村振興行政系の業務は、デスクワークにとどまらず、関係権利者への説明、現場における業務、関係機関での調査・調整など様々な業務を行います。
このため、業務において各種法規を取り扱う機会が多く、相続、測量、土地評価、不動産登記など日常生活でも役立つ様々な知識を身につけることができます。

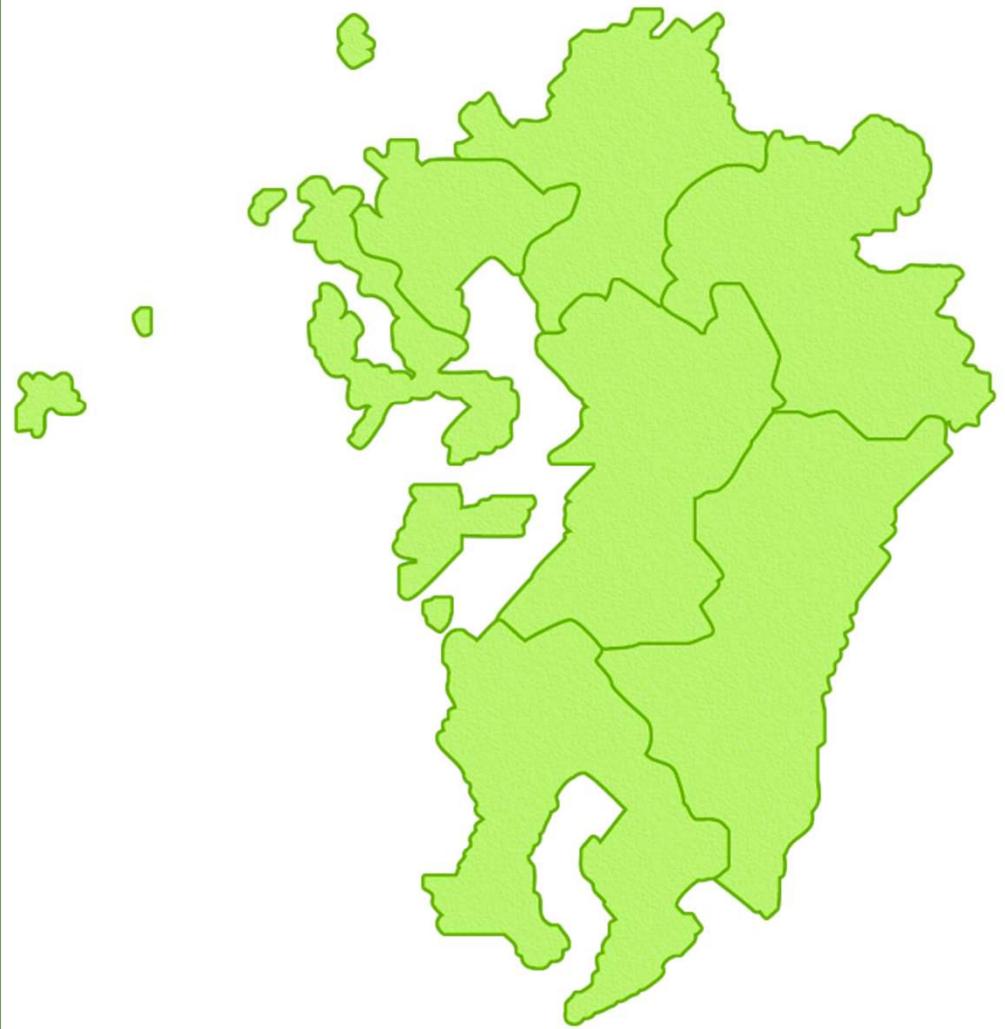


九州各地で 活躍する 先輩紹介

～農村振興行政系～



農林水産省本省
勤務者も！



農村振興行政系の職員は、入省1年目は九州農政局本局（熊本市）、入省2年目以降は、九州農政局管内の事業所・事務所、農林水産省本省（霞が関）で仕事をしています。

さまざまな場所で働いている先輩職員からのメッセージです！

鹿児島県内事業所用地課 係員 Kさん（R4年度入省）



九州農政局を選んだ理由やきっかけは何ですか？

漠然として公務員になりたいなというのはあって、大学時代に農村について学んだことや、デスクワークだけでなく現場の作業ができる職種が私に合っていると思ったため、選びました。実際に農村振興行政採用として現場に行くことが多く、ルーティーンではない仕事ができています。

どんなときに「この仕事をやっていてよかった」と思いますか？

自分の仕事(用地交渉等)によって、工事が進んでいると感じるときです。用地先行の原則というものがあり、工事を始めるにあたって先に用地を取得(買収、借地、地上権の設定等)しておかなければなりません。

自分が契約書を作成して、交渉が成立し、工事が始まるととても達成感があります。これは現場に出ることが多い農村振興行政系ならではのやりがいではないかなと思います。

大分県内事業所用地課 係員 Kさん（R4年度入省）



デスクワークとそれ以外（現場作業）の割合を教えてください。

- デスクワーク：現場作業 = 8：2
現在はデスクワークが基本で、2、3日に一度1～2時間ほど現場に行く機会があります。今後、より業務や現場への理解が深まり、自分にできることが増えたら、さらに現場に行く機会が増えると思います。

職場の雰囲気はどんな雰囲気ですか？

皆さん優しく、暖かい職場です。わからないことは、丁寧に教えてください。若手職員同士の交流もあるので、情報交換や相談などがしやすい環境です。

受験生へのメッセージをお願いします。

これから官庁訪問や人事院面接があり、就職活動も終盤になってきます。緊張することも多くあると思いますが、気負いすぎず本来の自分を出すことが大事だと思います。疲れがたまってくると思うので体調にはお気をつけください。

宮崎県内事業所財産管理課 係員 Tさん（R4年度入省）



九州農政局を選んだ理由やきっかけは何ですか？

祖父母が農業を営んでいて、時々手伝い等をしていく中で農業に関係することに少しでも貢献したいと思ったのがきっかけです。

また、大学での離島研修や自身で参加した公共機関へのインターンシップ等をとおして、地方ではなく国という大規模な中で農業に貢献したいと思ったことです。

職場でどのような仕事を行っていますか？

農政局は九州農政局本局（熊本市）とは別に、農家さん達の現場の声を拾いやすい事務（業）所や県拠点といった組織があります。

私は今、財産管理課というところで、各事業実施地区の完了前に事業成績書の作成等を行う財産調整業務と、権利保全対策等を行う財産管理業務の内、主に財産管理業務で「区分地上権」という権利を設定する為の事務作業をしています。

福岡県内事務所庶務課 係員 Kさん（R3年度入省）



九州農政局を選んだ理由やきっかけは何ですか？

「ゆったりと仕事ができる職場がいい」というざっくりとした理由から、農業系ならゆっくりできるかも？と思い、最初は興味を持ちました。調べていくうちに、農業という分野への興味や様々な場所（九州圏内や東京等）に行く機会が多数あるという魅力が決め手となり志望しました。

職場でどのような仕事を行っていますか？

以前までは工事に必要な土地を借りたり、管理する仕事をしていました。現在は事務所の中での支払い業務を担当しています。農村振興行政系であってもこのようなデスクワークがメインの仕事も行うため、様々な仕事に関わることができます。

受験生へのメッセージをお願いします。

遊びたくても遊べない苦しい時期だと思います。でももうあと一踏ん張りで終わりの時期なので最後まで頑張ってください。そしてみなさんが入省されるのを心待ちにしています。

熊本県内事業所用地課 係員 Tさん（R2年度入省）



職場でどのような仕事をしていますか？

現在は、主に用地補償業務に携わっています。

用地補償業務とは、農業用水路などの工事をする際に使用する土地の確保や買収、それに伴って発生する損失の算定・補償などを行う業務です。

また、用地関係の予算管理や各種報告資料作成、補償に係る税務関係の事務処理などを行い、現場では、使用する土地の調査や地権者さんとの用地交渉などを行っています。

やりがいを感じるときはどのような時ですか？

工事で使用する土地の地権者さんへ用地交渉に行った際に名前を覚えてもらえ、快く土地使用の承諾を得られたことです。私の説明次第で公共事業に協力してくれるかどうか決まる場合もあるので、地権者さんに対して丁寧な説明を行い、事業内容に納得していただいたときはやりがいを感じます。

鹿児島県内事業所用地課 係員 1さん（R2年度入省）



お休みの日など、プライベートな時間は何をしてお過ごしていますか？

私は現在、離島の事業所にいるのですが、島の人たちが集落の行事など様々なイベントに誘ってくれるので毎週楽しく過ごせています。

昨年度は草野球で島の代表チームに呼ばれ、大会にも出場しました。そこでの実績を買われ、今年からは中学校の部活動にも臨時コーチで参加しています。

写真は、集落行事のソフトボールに事業所チームとして出場した際に、開会式で選手宣誓をした時のものです。

“農村振興行政系“の業務内容について、入省前のイメージと入省後の実感にギャップはありますか？

入省前は正直業務内容を理解していませんでした。農村振興行政系の業務は、やはり現場に出る機会が増えるので、自分が何の仕事をしているのか、その仕事の成果がどう反映されてるか実感しやすい業務だと思います。

宮崎県内事業所用地課 係員 Hさん（R2年度入省）



職場でどのような仕事を行っていますか？

今の職場の仕事内容は、昭和～平成初期頃に造成された農業用用水路の改修工事に必要な土地の借地や地中を通っている水路トンネルの保全を目的とした権利設定を行うことです。その中で私は、借地や権利設定の際に支払う補償金の算定や契約書の作成を行う仕事をしています。

現場では、借地予定地の確認（工事を行うにあたり支障となるものはないか（電柱や樹木など））、土地の境界立会が主な仕事です。

また、現場までの官用車の運転や現地の写真を撮ることも若手の大事な仕事です。

九州農政局本局勤務（熊本市）と、事業所勤務でどんなところに違いを感じますか？

仕事面では、事業所は、スーツを着なくて良いので楽で、机も広いです。2年目に事業所へ異動になってから、主として動く業務が増え、充実感が増しました。

生活面では、場所によっては、車がないとちょっと不便を感じるかもしれないが、それ以外は特に違いを感じることは特にありません。

大分県内事業所庶務課 係員 さん（R2年度入省）



どんなときに「この仕事をやっていてよかった」と思いますか？

自分が担当した業務で、地権者交渉等を行った際に、地権者から国営工事を実施したことに対して、感謝の声を聞いた際にやりがいを感じます。

私たちの仕事は、国民からの税金を財源に業務を遂行しているため、時には国民からの厳しい目を向けられることもあります。しかし、その中でも、国営工事を実施したことで地権者から、「水路がきれいになってよかった」など感謝の声を聞くと、自身のモチベーションにも繋がっています。

“農村振興行政系“の業務内容について、入省前のイメージと入省後の実感にギャップはありますか？

入省前は、公務員の仕事は法律を扱うため、事務の仕事がメインだと考えていましたが、入省してみると、理系よりの知識が必要になったりすることが多いことにギャップを感じました。実際に、工事の設計資料を用地補償担当もチェックすることがあることや、CADソフトを利用することもあります。

佐賀県内事業所庶務課 係員 Hさん（H31年度入省）



職場でどのような仕事をしていますか？

現在は、事業所庶務課で経理関係の仕事を行っています。用排兼用水路の工事や設計業務に係る入札契約手続きや支払業務、職員が使用する物品の管理などの仕事がメインです。

前事業所では工事に必要となる土地の補償に関する仕事をメインで行っており、実際にお借りする土地の測量や評価を行うこともありました。

“農村振興行政系“の業務内容について、入省前のイメージと入省後の実感にギャップはありますか？

入省前は、正直、末端の仕事というイメージが強かったです。

しかし、入省後、事業所配属を経験したなかで、本局（熊本市）に勤めているときよりも、農業に携わっていることをより強く実感するようになりました。そこから農水省に入ったことの意義や農水省ならではの仕事であると感じるようになりました。

佐賀県内事業所用地課 係長 さん（H27年度入省）



職場でどのような仕事を行っていますか？

事業用地の借地、電柱の移転及び住宅の修繕費の補償資料作成など、用地関係に係る書類作成を行っています。

その他、用地関係に係る現場交渉、局への報告物の作成、用地に係る物品購入とりまとめ等を行っています。デスクワークが6割、現場作業が4割くらいの割合です。

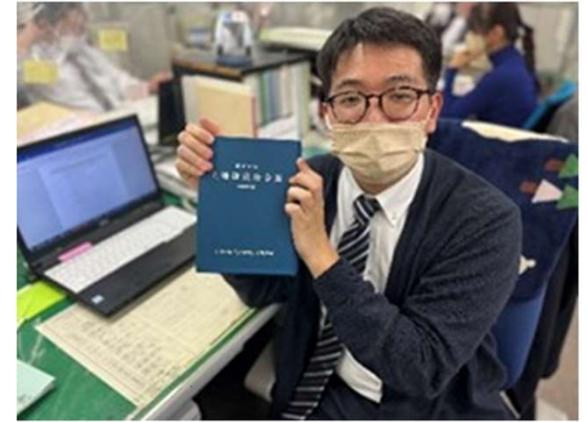
農林水産省本省（霞が関）勤務、九州農政局本局（熊本市）勤務、事業所勤務でどんなところに違いを感じますか？

本省は予算要求の最前線であり、仕事を行うスピード感が早く業務に必要な情報量が多いです。

本局はそれに比べ、本省報告や管内の県に対する仕事が多いのもあり、自分以外の仕事を含めた全体のスケジュール感をもった作業が多い気がします。

事業所は公的機関以外を相手に仕事をする機会が多いので、国の職員として所掌事務を詳細に理解し、説明する能力が必要になります。

本局土地改良管理課 係員 Uさん（R4年度入省）



職場でどのような仕事を行っていますか？

現在は、主に土地改良区という農業者の団体の運営に係る指導や助言を行っています。また、少しですが補助金業務も行っています。最近係として一番力を入れている業務が「土地改良区における男女共同参画」です。徐々にですが、業務の成果も出てきています。

直接土地改良区を訪問したり、県などとの打ち合わせが頻繁にあるので、出張は多い方だと思います。

受験生へのメッセージをお願いします。

これから受験生の方々は様々な心配や迷い事を抱えながら受験されていくのでとても緊張するし、苦しいこともあると思います。自分もあの頃のことには思い出したくありません（笑）。ただこの経験は必ず何かの糧になると思うので、後悔しないように頑張ってください！

私は九州農政局を選んでよかったなと仕事をしながら感じています。皆さんの選択肢の中に九州農政局が入ると嬉しいです。応援しています！

本局水利整備課 係員 Sさん (R2年度入省)



職場はどんな雰囲気ですか？

のびのび自由に仕事をさせてもらっています。上司と冗談を言い合ったり、雑談も多いので毎日飽きないです。良い意味で公務員っぽくない方が多くて、緩い空気が流れています。しかし、真剣に仕事に向き合うときは、全体がピリッとした雰囲気になるのでオンとオフのけじめがしっかりついた職場かなと思います。

受験生へのメッセージをお願いします。

バズマフで活動していることが1つの例ですが、農政局は自分のやりたいことを素直にやりたい！といえる職場です。

公務員にも様々な種類がありますが、どこで仕事がしたいか？というより自分がどんな仕事をしたいか？（個人的な考えです）というのが重要だと思います。

農林水産業を良くしたいという思いがある方は、是非一緒に仕事をしましょう。

農村振興局総務課 係員 Tさん（H31年度入省）



農林水産省本省（霞が関）勤務、九州農政局本局（熊本市）勤務、事業所勤務でどんなところに違いを感じますか？

仕事面：一番は、係員の仕事の量と質です。本局や事業所では、係長や専門官の業務の補助がメインで比較的時間にゆとりがあるが、本省では係員にもそれぞれ仕事がある程度任せられていて、×切が比較的短いものも多く、どんどんこなしていかないと大変だと感じました。

生活面：本局や事業所では、飲み会やプライベートで接するのは同期や年の近い後輩や先輩が多かったが、本省では若手職員だけでなくいろんな年齢層に人と接する機会が多くなりました。

どんなときに「この仕事をやっていてよかった」と思いますか？

事業所勤務では、地元での説明会や用地交渉などで地元の方と接する機会も多くなりました。

異動したての1年目の時は、自分の言いたいことが言えれば満足で、相手の方にも説明したことがうまく伝わらなかったが、年数を重ねるうちに、地元の方とのコミュニケーションや交渉も上手くなり、地元の方に「わかりやすい説明でよかったよ」と言ってもらえた時に、がんばってきてよかったと感じました。

農村振興局整備部防災課 係員 Sさん（H30年度入省）



職場でどのような仕事を行っていますか？

災害の被害報告のとりまとめや災害復旧事業に対する国庫補助の交付割合の決定するいわゆる「増高申請」に係る業務を行っています。また各種法令の改正に対して付随する事務作業も行っています。

本省防災課ということもありいつもせわしなく動いている印象がありますが、基本的には和気藹々とした職場といえると思います。

“農村振興行政系“の業務内容について、入省前のイメージと入省後の実感にギャップはありますか？

面接の時には内部管理が主と聞いていたので、役所のイメージと違って現場業務で実際に農家の方と関わることが多いと感じました。成果が目に見えて形に残る仕事であり公務員以外にも様々な人と関わる職場なので働いているという実感は得やすい職種だと思います。

そのおかげで苦情や逆に整備してもらってよかったという喜びの声も最初にいただける仕事なので臨場感があります。また転勤が多いためお金と手間は掛かりますが様々な地域により近い距離で関わることになるので見識は広がります。

大臣官房予算課 係員 Sさん (H29年度入省)



職場でどのような仕事を行っていますか？

本省（一般会計）の歳出（その年度における支出）・決算（いくら予算を使ったか）に関する業務を行っています。

仕事で困ったときなど相談がしやすい環境であり、雰囲気はとてもよいと思います。

また、休暇も取りやすいです。休みの日は、野球を観に行ったり飲みに行ったりしています。

農林水産省本省（霞が関）勤務、九州農政局本局（熊本市）勤務、事業所勤務でどんなところに違いを感じますか？

経理事務について、事業所では1～10まで満遍なく行うのに対し、本省（予算課）では班によって担当が分かれているので、それぞれ専門的に業務を行うという点に違いを感じる。（契約関係なら、調達班・契約班であったり支払なら主計班、物品管理なら財産管理班といったように。）

農村振興局総務課

係長 Nさん（H28年度入省）

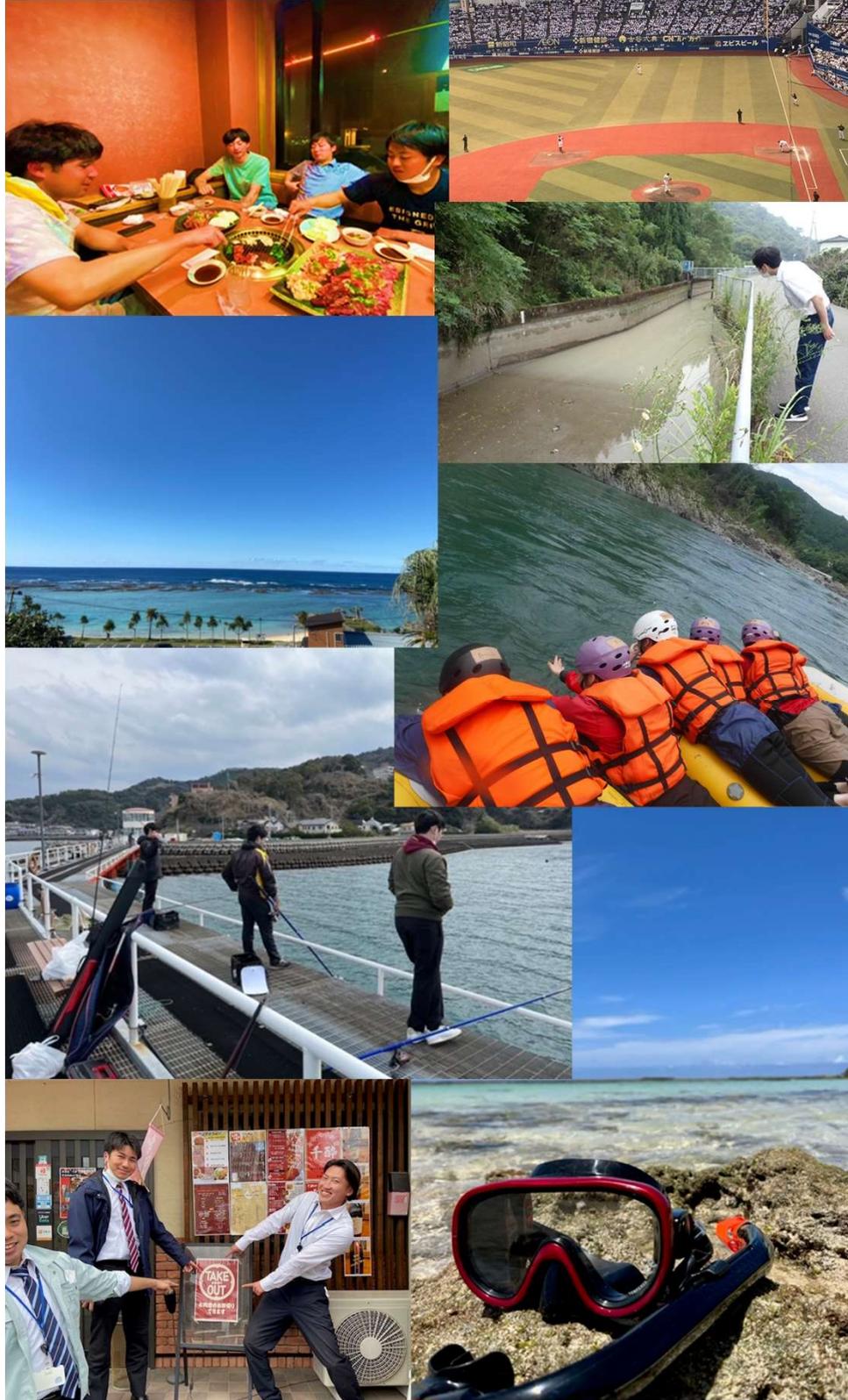
職場でどのような仕事を行っていますか？

現在は東京の霞が関にある農林水産本省で働いています。今年が東京に来て4年目になりますが、主に予算関係（現在でいうと、R6年度の予算の要求、R5年度の予算の執行、R4年度の決算）についての仕事を行っています。

農村振興局の各事業費や事務費、職員の皆さんの人件費の予算について、莫大な金額を扱いますし、財務省との折衝もありますので、結構緊張感のある仕事です。

どんなときに「この仕事をやっていてよかった」と思いますか？

現在の仕事でいうと、全国の農政局からイレギュラーな問題の相談が来ることがあります。それについて、どうにか解決できた時に達成感があります。入省して1年目の時に、できないというのは簡単だけど、諦めずにどうすればできるのかを考えなさいと上司に言われたことをずっと覚えており、仕事をする上でこの言葉が根底にあります。



作成・問い合わせ先

九州農政局農村振興部用地課
九州農政局総務部総務課

電話：096-300-6063（直通）

メール：saiyou_kyushu@maff.go.jp

採用情報HP：

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/guide/index.html#saiyou>

MAFF

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

